

「令和2年産水稻の作付面積及び予想収穫量（10月15日現在）（関東農政局管内）」10月30日公表の補足資料

関東農政局統計部

【長野県の作柄概況】

1 長野県における令和2年産水稻の作付面積（子実用）は3万1,800haで、前年産に比べ200ha減少した。また、主食用作付面積は3万700haとなった。

2 全もみ数（穂数×1穂当たりもみ数）は、穂数がやや少ない、1穂当たりもみ数が多いことから「平年並み」となった。

3 登熟は、8月中旬以降も高温の状態が続き、暑さの影響により「やや不良」が見込まれる。

4 この結果、長野県の10a当たり予想収穫量は606kgで、前年産に比べ14kgの減少が見込まれる。

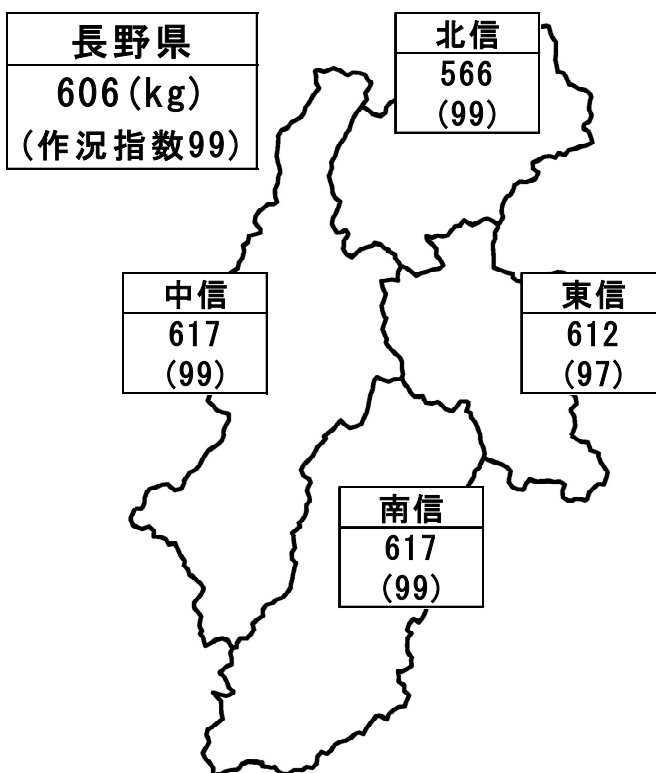
また、作柄表示地帯別では、東信で612kg（前年産に比べ14kg減少）、南信で617kg（同19kg減少）、中信で617kg（同14kg減少）、北信で566kg（同4kg減少）が見込まれる。

なお、農家等が使用しているふるい目幅（1.85mm）で選別された長野県の作況指数は99が見込まれ、作柄表示地帯別では、南信、中信及び北信で99、東信で97が見込まれる。

5 以上のことから、予想収穫量（子実用）は19万2,700tで、前年産に比べ5,700tの減少が見込まれる。

また、主食用作付面積に10a当たり予想収穫量を乗じた予想収穫量（主食用）は18万6,000tで、前年産に比べ5,600tの減少が見込まれる。

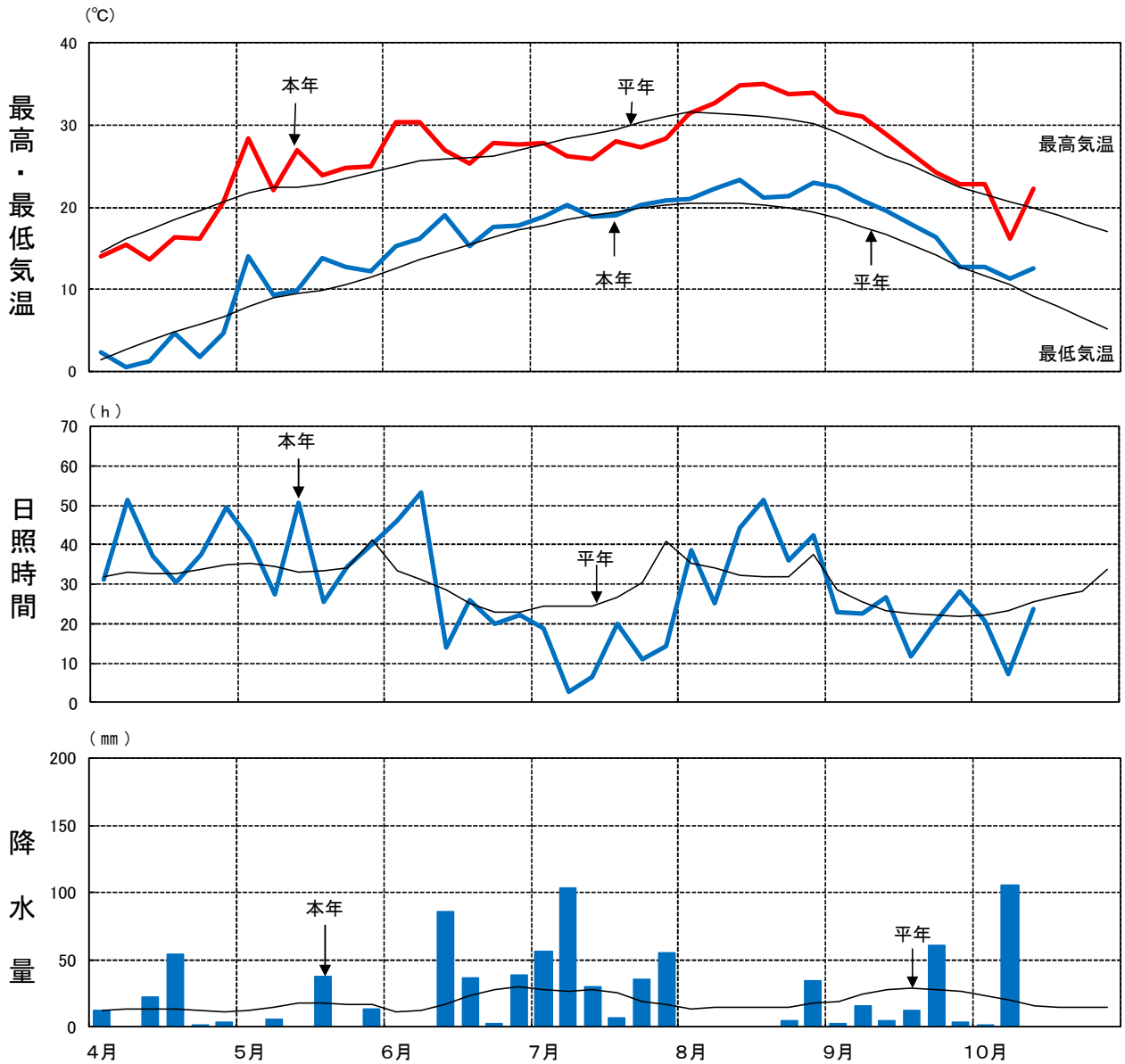
図 作柄表示地帯別10a当たり予想収穫量及び作況指数（10月15日現在）



○ この資料は、「令和2年産水稻の作付面積及び予想収穫量（10月15日現在）（関東農政局管内）」10月30日公表の補足資料として作成したものです。詳細については同公表資料を御覧ください。

本資料は、関東農政局ホームページ「統計情報」の次のURLから御覧いただけます。
【 https://www.maff.go.jp/kanto/to_jyo/ 】

令和2年 半旬別気象（松本）



資料：気象庁

田植期
 5/22(±0)

出穂期
 8/9(+3)

刈取期
 9/29(Δ2)

注：田植期、出穂期及び刈取期の期日は、いずれも最盛期を示す。
 なお、()内は、平年との遅速(日数)を示す。

お問合せ先

◎本統計調査結果について
 関東農政局 長野県拠点 統計チーム
 電話：026-234-5577
 F A X：026-235-1397